

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2026年3月

所在地	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・園庭で自然物を使ったおままごとや、色水遊びを楽しむ。

<テーマの設定理由>

- ・室内で水を使った実験や、自然物を使った制作などを楽しむ様子が見られたが、活動がより広がるように、園庭で水や花、枝や葉など自然物を使って実験や見立て遊びを楽しむことができるように活動を用意した。

2. 活動スケジュール

- ・参加者：幼児クラス3～5歳児
- ・午前中の園庭遊びの時間に、おままごとキッチンを使って色水遊びを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・テーブル、椅子→花を使った色水遊びをする。
- ・柵→取り出しやすいように素材や容器を用意する。
- ・キッチン→色水遊びで作った物を使って見立て遊びができるようにする。
- ・草花→お昼ご飯の時に使用した草花を籠に入れて準備しておく。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・園庭遊びの途中で、数名を誘って色水実験を開始。適宜交代をしながら、経験したい子が経験出来るようにしていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

(子どもたちの様子)

- ・「どの花が一番色が出るかな?」「この葉っぱは緑になるかな?」と素材の草花を選んでいました。
- ・集めた素材をすり潰したり、揉んだりする際、透明だった水が、赤、紫、などへ変化する様子を見て、「わあ!色が変わった!」と楽しむ様子が見られました。
- ・「もっと濃くしたいから、お花を追加しよう」「お水が多すぎたかな?」と、自分なりに工夫を凝らしていました。
- ・キッチンペーパーに色水を吸い込ませて、どんな色ができているか見て楽しむ様子も見られました。
- ・保育者の声掛けにより、色水を見せ合ったり、混ぜてみたりする様子がありました。

(保育者の関わり)

- ・すり鉢や瓶などを用意して、草花の色を出せるような環境を用意しました。
- ・お昼ご飯の時に机に飾っていた草花を使って色水体験を始めてみました。
- ・花だけでなく「葉は何色になる?」と、選択肢を広げるような声掛けをしました。
- ・「〇〇ちゃんのは何色に見えるかな?」と、周りのお友だちが作っている色水にも用みを持てるような声掛けをしました。

活動のが分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・用意してあった道具や素材を使って自分たちなりに試行錯誤して色水を出していました。
- ・始めは一人ずつ色水を作っていた子どもたちも、保育者の介入によりお友だちと一緒に試し始める様子が見られて良かった。
- ・園庭のおままごとセットを使って、色水実験だけでなく、自然物での見立て遊びができるような環境も今後整えていけると子どもたちの遊びがより広がるのではないかと感じた。